

令和 6 年度三鷹市市民体育施設利用者懇談会
対応済み（手法を変更して対応を含む）の意見及び提案一覧

意見及び提案		対応内容
SUBARU 総合スポーツセンターについて	健康増進プール側のライトがすべてメインプールの方を向いておりとても暗いので、いくつか間引きして健康増進プールの方に向けてほしい。	照度計による照度の比較調査を行った結果、健康増進プール側の照度はメインプールに比しても劣っておらず、いずれも日本水泳連盟が定める公認プールとしての照度条件 600 ルクス以上をクリアしていました。
	サブアリーナにピンポン球が入り込んでしまう隙間があり、一度入ると取り出すことができない。虫取り網でも試してみたのだが取り出せず、特に試合球は高価なので、簡単に取り出せるような通路を作る等、対応してほしい。	令和 6 年 2 月に、該当箇所にネットを張り付けて、球が入らないよう対応いたしました。
	プールを利用する際に、小学校低学年くらいの子を親 1 人で更衣室に連れて行こうとすると、家族更衣室の数に限りがあるため不便である。セントラルの教室の際に使用できず、同性の親が付き添える時間となると、申込できる時間が限られてしまう。世間的に異性の更衣室に子どもを連れて行くことは問題があると思い、また、性別に関係なく子どもの面倒を見るニーズが増えていることもあり、何か解決策がないかと思う。	構造的な観点から新しい部屋を作ることが困難です。可能な方にはあらかじめ水着を着て来場くださるようお願いをしています。着替えはできるけどロッカーの鍵がかけられない場合など、セントラルの職員が対応できるものについてはサポートをしています。
	体育室等、狭い部屋の換気は感染症の観点からどうなっているのだろうか。何か対応しており、かつ、周知されていればより利用もしやすくなるのではないか。	各諸室に、1 時間に何回空気が入れ替わるか記載された掲示があるので、このまま掲示を継続いたします。剥がれている諸室がないかも確認いたしました。
	メインアリーナでイベントがある際、ランニング走路が利用中止となっていることが多く、イベントが多い土曜日、日曜日は、ほぼ利用できない。全ての日が利用できないということはないのではないか。	大会開催時は観覧席への出入りが多くなり、接触事故の危険性が高くなるため、ランニング走路の使用を中止しておりますが、大会が早く終わった際には予定よりも早くランニング走路を開放するなど、なるべく使用中止の時間が短くなるように対応しています。なお、ランニング走路の中止日程につきましては、財団ホームページで毎月周知しています。

意見及び提案		対応状況
大沢総合グラウンドについて	大沢総合グラウンドの備品について、改修工事後1度も交換したことがないとのことなので、施設全般において、管理者自ら備品管理のチェックシートを作る等、委託している施設管理人に指導してほしい。	備品管理チェックシートを作成したので、今後これに基づき適切に管理していきます。
学校体育施設について	以前は第四中学校の多目的室にて卓球が利用でき、卓球団体の中で被らないよう調整し利用していたが、数年前から利用できなくなってしまったのはなぜか。	コロナ禍以降継続して開放不可となっていたが、学校と調整し、令和6年3月より開放可能となりました。
	第四中学校の多目的室について、以前は土日のみ朝9時から使用できたが、全ての曜日が午後6時以降でないと使用できなくなってしまったのはなぜか。	学校と調整し、令和6年11月より長期の休みであれば、朝の時間も開放可能となりました。
	備品について、年季が入って使いづらくなっているものがある。利用者の方から声を挙げないと替えてもらえないのだろうか。	学校に置いてある備品については、学校で購入している備品とスポーツ推進課が購入している備品の2種類があり、学校側と調整の上での購入となります。 卓球台などは高額のため、実際に使用している方のご要望が多い学校から順次購入しています。
スポーツ教室について	教室の名称だけだと判断が付きにくいいため、動きの種類よりもどのくらいの強度で、どのくらいのしんどさなのかを記載していただきたい。	教室プログラムの内容や強度などが一目で分かるものを作成し、令和7年度の第1期（4～6月）スポーツ教室申込分から公開しました。
	参加時間が1時間だと都合をつけにくいいため、30分程度の枠を設けて欲しい。	ワンコインプログラムは、続けて通う必要がなく、事前申し込みも不要で、その場に行けばすぐに参加できる30分程度の教室です。より周知に努めてまいります。

意見及び提案		対応状況
種目別個人開放について	利用日数を増やす等、どのように促進していくつもりなのか考えを教えて欲しい。卓球の場合だが、平日の午前中を中心に開放を行っており、高齢者向けの事業である印象を受ける。	種目別個人開放事業の卓球・バドミントン・バスケットボールについては、平日の水曜日若しくは木曜日に実施していた9時～18時の枠について、平成30年度より新たに夜の18時～21時の枠を増やすことで、午前中のみに開放が集中しないよう分散して実施しています。なお、土日については大会等での利用が多いことから、毎週種目別の枠を確保することが困難な場合もありますが、各月に各種目1枠以上は開放できるように努めます。
「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリの活用について	アプリの存在を知る機会があまり無いので、他部署との連携した企画等があれば市民の方の興味にも繋がり、文化面での交流の入口にもなると思う。また、お年寄りが利用する機会の多いスーパーマーケットや病院等の目に入りやすい場所にPRすると良いのではないかな。	イベント等でPRできるよう立て看板やPRチラシを作成したので、引き続きPRを強化していきます。
	アプリストアのオーナーがシステム会社の名前になっており、三鷹市のアプリだと判断がつきにくいため、事前に知らない人にとっては信頼性に欠けてしまうのではないかな。	各アプリストアにおける説明文の冒頭に【三鷹市公式】という表記の追記を、令和7年2月中に実施します。
	実際にどのように使えるのかという説明をアプリストア内に記載してほしい。	説明文は既にストア上に掲載していますが、令和7年2月中に、より分かりやすい表現に修正します。
	アプリストアにて評価の悪いレビューしか見受けられないため、返信を行うなど、改善を行っている姿勢を見せる必要があると思う。	いただいたレビュー・ご意見に対して、令和6年11月に全て返信を行いました。今後も引き続き、いただいたレビュー・ご意見に対して速やかに返信します。

意見及び提案		対応状況
その他	基本計画の目標である利用者数を上げるにあたり、いきなり施設を利用するのではなく、その前のクッションになるような工夫ができると良いのではないかと。例えば、防災公園から市役所、農業公園にかけてのスペースを活用し、ベンチを置き憩いの場にする、ヨガをする等ができれば、外からも体を動かしている様子が目に入り、運動を始めるきっかけづくりになるのではないかと。また、市全体として緑を増やすことも考えながら、既存の施設を有効活用し、体を動かせる場として作っていくのはどうか。	3月策定予定の三鷹市スポーツ推進計画 2027に事業の1つとして、「まちなかにおける表示等を活用した運動のきっかけづくり」を盛り込み、スポーツ施設だけでなく、公園や三鷹駅前ペDESTリアンデッキの階段など、身近なところで運動のきっかけとなるようなカロリー表示や距離表示等の充実に取り組みます。
	顧問がいないため部活等で興味のあるスポーツを行えない子どもがいることや、競技人口の高齢化により、競技スポーツというより健康維持のためのレクリエーションとなってしまうことから、スポーツ協会等が声をかけて、スポーツをしたいと思っている子どもを引き出し、三鷹市の中心部でクラブを作る等、競技スポーツに若い人や中間層の人が飛び込めるようなシステム作りを検討する必要があると思う。	競技スポーツの普及は、主に三鷹市スポーツ協会に取り組んでいただいているため、各競技について一定の受け皿があるものと認識しています。スポーツのきっかけとなるレクリエーションスポーツから、競技スポーツに転向したいという人には、協会・各連盟の活動情報が届くようなPRが必要と考えられるため、引き続きスポーツ協会と連携を深め、SNS等も活用した活動のPRに取り組みます。
	(公財)三鷹市スポーツと文化財団の令和6年度事業計画書におけるスポーツ事業等について、誰をターゲットとしているかがわかりづらく感じる。どのような人を対象としているのか、過去の相談事例及びその結果を含め、もう少し明確化してほしい。	事業計画書については、記載できる項目や文量が決まっているため、相談事例やその結果まで記載することは困難ですが、誰をターゲットとした事業であるか、分かりやすく記載するよう努めます。
	広場の芝生を活用したプログラムやアクティビティに関する企画を出していただいた方に対して、みたか地域ポイントを付与する等、メリットを提示することも良いのではないかと。	市民意見の募集を目的としたみたか地域ポイントの付与は、運用上難しいですが、利用者からより良い意見を集められるよう、引き続き取り組んでまいります。